

英会話ができる様になりたければ発音勉強から取り掛かってください。

このことを知らないがために貴方は非常に損をしているのです。 ですから、このメールは毎日貴方に送ります。

知って頂きたいことは、英会話を勉強したければ先ず英語発音の練習から取り掛かるべきことなのです。

何故か？ それは、日本にはカタカナ、ひらがな、と言う便利なものがあるので、既に何千語もの英単語を日本語化して覚えてしまっているからです。 この状態で英会話を勉強しようとしてもネイティブが発音する英単語が聴き取れないのです。

例えば「コース」と言う英単語の場合、スペルは course で、国際発音記号では [kɔ:rs]なのに貴方はこれを国際発音記号の [kɔ:rsu]として覚えてしまっているのです。 ネイティブが英会話で [kɔ:rs]と発音すると貴方はそれが聴き取れないのです。

又「裁判所」の英語はスペルは court で国際発音記号では [kɔ:rt]なのに、日本人はこれを [kɔ:to]と発音するものですからネイティブには通じないのです。 赤字の国際発音記号の所で貴方の発音は間違っているのです。

貴方も国際発音記号を知って、国際発音記号通りに発音しないとネイティブは貴方の course や court の発音が聴き取れないし、またネイティブの course や court の発音が貴方には聴きとれないのです。 このような状態で貴方が英会話勉強をしても絶対に英会話は上手にはなれないのです。

ですから、早速英語発音の勉強を始めてください。 具体的には次のことをしてください：

- ① 既に貴方も持ってられる「遠藤メソッド式 英会話速習プログラム-発音編」のDVDを30～60時間程度練習する。
- ② 最初の8時間程度の練習ののちに、貴方の練習結果の発音録画を撮って、それを弊社にインターネットで送る。 送り方は次のURLを読んでください：  
<http://www.pasocon-eikaiwa.net/reference/108-3.htm>

弊社では貴方の発音録画で貴方の発音の音質と口・舌の形をしらべて第1回の発音指導書をメールで送ります。この発音指導書作成は無償です。

- ③ 次に第2回、第3回の発音録画を弊社に送ってください。この発音指導には1回¥5000を頂いていましたが、今年の9月30日までは2回とも無償で発音指導をさせていただきます。
- ④ これで発音卒業となり次のヒアリング・スピーキング教材に進んでいただきます。発音を卒業すれば、ヒアリング・スピーキングの練習は非常に早い速度で進むのです。

国際教育研究所 代表取締役社長 遠藤尚雄